

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 57 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日時 2013 年 11 月 26 日 (火) 14:30 ~ 15:45
2. 場所 5 東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者 (順不同 , 敬称略)
(出席委員) 有富部会長 , 河西副部会長 , 加藤幹事 , 江頭 , 金木 , 高橋 (途中入室) ,
渡田 , 仲神 , 中島 , 平井 , 藤田 , 柳原 , 山本 (13 名)
(代理出席委員) 高橋陵太代理 (東芝 / 小畑委員) , 都筑康男代理 (原子力安全推
進協会 / 仙波委員) , 初岡賢政代理 (原子力安全推進協会 / 川上委
員) , 吉原恒一代理 (原子力安全推進協会 / 新堀委員) (4 名)
(欠席委員) 内山 , 大久保 , 木倉 , 坂下 , 西谷 , 深澤 (6 名)
(常時参加者候補) 丸岡 (原子力安全基盤機構) (1 名)
(欠席常時参加者) 澁谷 (1 名)
(説明者) [臨界安全管理分科会] 板原 (日本原燃) , 千葉 (日本原燃) (2 名)
(事務局) 室岡 (1 名)

4. 配付資料

- | | |
|--------------|--|
| FTC57-0 | 第 57 回原子燃料サイクル専門部会議事次第 |
| FTC57-1 | 第 56 回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案) |
| FTC57-2 | 人事について |
| FTC57-3-1 | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手
順 : 201X (案)」標準委員会書面投票結果 |
| FTC57-3-2 | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手
順 : 201X (案)」標準委員会書面投票コメント一覧 |
| FTC57-3-2 別紙 | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手
順 (案)」標準委員会書面投票コメント一覧の対応案の詳細 |
| FTC57-3-3 | 「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手
順 : 201X (案)」 |
| FTC57-4 | 「浅地中トレンチ処分の安全評価手法 : 2013」の修正について |
| FTC57-5 | 標準活動検討タスクの活動状況報告 |
| FTC57-6 | 分科会活動状況報告 |

参考資料

- FTC57-参考 1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
FTC57-参考 2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

- (1) 出席者の確認

開始時、23名の委員のうち、代理委員を含む16名の出席があり、成立に必要な委員数（16名）を満足している旨が事務局から報告された。

(2) 前回議事録の確認 (FTC57-1)

事務局から、前回議事録（案）について説明があり、前回議事録（案）は承認された。

(3) 人事について (FTC57-2)

(3) - 1 事務局から、FTC57-2に基づき、専門部会、分科会の人事について以下の通り紹介が行われた。

1) 専門部会

委員の退任【報告事項】

丸岡 邦男（（独）原子力安全基盤機構）

重入 義治（国土交通省）

委員の再任【承認事項】

有富 正憲（東京工業大学）2014.4-2016.3

川上 泰（（公財）原子力安全研究協会）2014.4-2016.3

平井 輝幸（電気事業連合会）2014.2-2016.1

選任済み委員【報告事項】

渡田 滋彦（国土交通省）

常時参加者の登録【承認事項】

丸岡 邦男（（独）原子力安全基盤機構）

審議の結果、有富委員、川上委員、平井委員の再任及び丸岡氏の常時参加者登録が承認された。

2) 分科会

報告事項、決議事項、承認事項ともなし。

(4) 【報告・審議】「再処理施設の臨界安全管理における燃焼度クレジット適用手順：201X（案）」標準委員会書面投票結果（FTC57-3-1～FTC57-3-3）

事務局から資料 FTC57-3-1 に基づき、2013年10月15日から2013年11月14日まで実施した標準委員会書面投票結果について、賛成23票、意見付き反対1票により否決されたことの報告があった。続いて、臨界安全管理分科会の板原幹事及び千葉氏（常時参加者候補）から資料 FTC57-3-2、FTC57-3-2 別紙、FTC57-3-3 に基づいて、書面投票時に出されたコメント対応について報告があった。主な質疑等は、以下のとおりである。

Q. FTC57-3-2 の 2/2 ページの上表 No.3 は、2. 対応を検討中のため別途正式回答とするものに移す方が良いのではないか。

そのように修正して標準委員会に提示する。

審議の結果、資料 FTC57-3-2 の 1/2 ページの対応案については委員全員の賛成により承認し、次回標準委員会で報告することとなった。残りの対応案については引き続き検討し、反対意見を投じた委員と分科会との反対意見を解消するための話し合いの結果も含めて、次回の専門部会で説明することとなった。

(5) 【報告】学会標準「浅地中トレンチ処分の安全評価手法：2013」の修正(FTC57-4)

LLW 処分安全評価分科会の山本幹事から資料 FTC57-4 に基づき、発行手続き中の本標準案につき一部修正する必要性が生じたことについての説明があった。主な質疑等は、以下のとおりである。

Q.原技協ガイドラインの文献番号は原安進になって変更されていないのか。

そのままである。

C.原子燃料サイクル専門部会江頭委員の所属についての修正コメント。

拝承。Copyright の年については仮の記載であり、発行時の年に合わせる。

審議の結果、この修正は編集上の修正であるとして、次回標準委員会へ報告することが承認された。

(6) 標準活動検討タスクの活動状況報告 (FTC57-5)

加藤幹事から資料 FTC57-5 に基づいて、標準活動検討タスクの活動状況が報告された。専門部会として共通の用語集を作成するため、各分科会で用語の検討をすること、分担等に関する連絡は事務局から行うことが確認された。

(7) 原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況 (FTC57-6)

事務局から資料 FTC57-6 に基づいて各分科会の活動状況が報告された。クリアランスレベル検認分科会の「クリアランスの判断方法：2005」については前回の専門部会報告に引き続き、改訂の要否を検討中であること、LLW 処分安全評価分科会の「浅地中トレンチ処分の安全評価手法：2012」は9月の標準委員会で制定決議され、現在発行準備中であることが報告された。

6 . その他

- ・次回第 58 回原子燃料サイクル専門部会は、3月4日(火)午後を開催することとなった。

以上